

## マスコミで見るURCの今－最近1ヶ月間の情報を中心に－

- ◎新聞 記事は資料室で読めます。
- 2011.5.14 西日本新聞 朝刊 1p  
ねぶた変身 親子竜 新博多駅ビル 市民研究員OB藤浩志さんが作成
- 2011.5.13 読売新聞 夕刊 8p  
ねぶた再利用 竜のオブジェ 九州新幹線開業を記念 市民研究員OB藤浩志さんが作成
- 2011.5.13 毎日新聞 朝刊 16p  
つながる九州 九州アートゲート開幕 きょうから東日本に希望を アミュプラザ博多 初回は県内  
在住・藤浩志さん「飛竜-青森からの旅-」
- 2011.5.12 西日本新聞 朝刊 25p  
シンポジウム「九州新幹線開通と都市の魅力の創造」本年度第2回の都市セミナー参加者募集
- 2011.5.2 西日本新聞 朝刊 19p  
くらし情報 いのち元気 がん情報、地元重点-福岡市のNPOがHP 同法人は当研究所OB西  
園博文氏が設立
- ◎雑誌
- 2011.5 ぶらりと-身近に図書館がほしい福岡市民の会(身図会)会報-NO. 68 6p  
ご存知ですか？財団法人福岡アジア都市研究所 都市政策資料室  
先月号掲載の「所員雑感 研究をバックアップしてくれた都市政策資料室(小林清美短期研究員  
著)」が転載される。
- 2011.5.1 ソトコト2011MAY No.143 特集:日本を元気にする九州の100人 056p  
市民研究員OB藤浩志さんが選ばれる。
- 2011.3.15 SIGNS in Japan 2010 No.4 第138号 51～55p  
アジア都市景観賞の創設に参画して/佐藤優 当研究所が共催するアジア都市景観賞について執筆。
- ◎海外新聞
- 2011.5.19 CHINADAILY、中国環境報 など多数  
亜州都市景観研究会暨“2011亜州都市景観賞”新聞発布成功紹介  
今秋、福岡市で開催予定の第二回アジア都市景観賞の北京での記者会見に現地マスコミ32社が  
参加。4社がインターネット中継を行うなど、大きく報道された。
- 2011.4.13 제주일보(済州日報) 8p  
한일해협권연구기관協,日 지경피해 성금 전달  
韓日海峡圏研究機関協議会、日本の東北部地震被害の寄付

### 所員雑感

### 福岡らしい超高齢社会を考える！

### 専門研究員 佐々木 喜美代

5年ぶりにURCに戻ってまいりました。2003年4月から2006年3月まで、URCの主任研究員として在籍していましたが、2006年4月から5年間の任期制公務員として福岡市市長室広報課課長となり、「市政だより」やホームページ、広報テレビ番組やシティセールスの媒体などを職員ともども作っておりました。この3月で任期満了となり、4月からURCの専門研究員として在籍しています。よろしくお願ひします。

研究テーマは「超高齢化社会に対応した社会システムの変革に関する研究」という長いタイトルのものです。ちなみに高齢化社会というのは、65歳以上の人口が全人口の7%、高齢社会は14%になったとき。日本は1994年に高齢社会となりました。そして、2007年には「超高齢社会」を迎えたのです。超高齢社会は21%になったときですが、2007年に21.5%となりました。日本はまぎれもない超高齢社会。

そしてこの高齢社会は東アジアに共通した課題でもあります。日本が先に高齢社会を迎えています。韓国は2019年に、中国は2024年に高齢社会を迎えます。そこで、日本をはじめとする東アジア地域の長寿化と少子化による人口高齢化を関係専門家と共に研究することを目的に、1994年から始めた「東アジア地域人口高齢化専門家会議」というものがあるのです。今年上海で17回目の会議があり、出席してきました。各国の研究者から最新のデータや問題点が提示され、刺激的な会議でした。

日本が社会全体で対応する制度としてつくってきた年金や介護保険など、これから韓国や中国が必要に迫られてくるということです。制度だけではなく、サービスや住宅、交通や建築のバリアフリーの取り組みなども重要なことです。共通するテーマは、いかに元気な高齢者でいてもらうかということ。

WHO(国際保健機構)が提唱しているのはアクティブ・エイジング(Active Ageing)、「人が有意義に年をとるには、長くなった人生において健康で、社会に参加し、安全に生活する最適な機会が常になければならない。」としています。



上海での会議の様子

福岡らしい社会システムとは何か？これからアジアとの協力関係をどのように構築すればよいのか…などを提案していきます。海外からの研究者が福岡に来て驚くのは、街に高齢者が多いこと、そして元気に歩き、食事やお茶を楽しんでいることです。バスに乗っても「グランドパス」(65歳以上の方対象の路線バス乗り放題定期券)利用者が多いですね。まさに福岡こそ、アクティブ・エイジングの都市にふさわしいと実感しています。

